

日本共産党市議団による2009年度予算要求と市からの回答(概要)

「市立病院の医師確保に努め、充実した医療と経営の安定をはかる。特に脳外科、整形外科の充実を図ること」

市の回答 今後も医師の招へいに努めるとともに、

医大生に対する就学資金貸与制度を確立し、将来的な医師確保を図ります。また、平成20年度に策定する公立病院改革プランに基づき、経営改善に向けた取組みを展開します。脳外科、整形外科についても、医師の招へいに努め充実を図ります。

「国保税の滞納を理由にした資格証明書や短期保険証の発行をやめ、加入者全員に正規の保険証を交付すること。特に幼児・児童・生徒のいる世帯については早急に改善すること」

市の回答 一定期間国保税を滞納している世帯への資格証明書や短期保険証の交付は、負担の公平性及び国保財政の安定運営を図る観点から行っています。幼児・児童・生徒のいる世帯

については、状況把握に努め、きめ細かい対応をしていきます。

「各種公共料金の値上げを行わないこと」

市の回答 水道料金、公共下水道料金、各種手数料の値上げは現段階では予定はありません。公共施設（ふれあいセンター、各体育施設等）については、引き続き検討します。

「乳幼児医療費の無料化については、小学校入学前まで、また、小学校卒業まで引上げを図り、将来的には義務教育終了まで無料化を拡充すること」

市の回答 平成20年4月から、3才未満児の医療費の無料化を実施したところですが、3才以上については、市の財政状況を勘案しつつ検討します。

「いわき市などで実施している住宅リフォーム資金助成制度を設け、地域経済の活性化をはかること」

市の回答 議会でも市長が答弁しているとおり、実施に向け検討します。

「学校の新築及び改築計画を策定し、子どもたちの教育環境の充実に努めること」

市の回答 改築計画については、校舎等の老朽化による改築や学校の統合を考慮しながら計画を策定し、教育環境の充実に努めます。

「教育予算を増額し父母負担の軽減を図ること」

市の回答 平成19年度から学級費相当分の予算増額を図るなど、負担の軽減に努めておりますが、引き続き軽減に努めます。

「市立の保育園、幼稚園の統廃合や民間委託は、父母や住民の合意が得られない場合は実行しないこと」

市の回答 市立幼稚園は入園応募者が著しく減少したことから、平成21年度をもって廃止します。保育園の統廃合については、今後

の入所の動向を見極めて慎重に対応します。

「市長交際費の支出内容を公開すること」

市の回答 平成21年度から市のホームページに市長交際費の支出内容を公開します。

「議員の公費による海外視察は原則的に中止すること」

市の回答 県議長会主催の海外視察は、16年度参加が最後で、20年度以降予算措置はしていません。全国議長会主催による欧州行政視察は予算措置していますが、希望者がいないため不参加となっています。

*

日本共産党市議団は、「回答の中で、検討するとの答えが多いのが特徴である。今後とも議会内外での働きかけを強めて、要求に対する回答が検討から実施に前進できるよう引き続き全力をつくす」としています。



磯馴橋のすぐ下には、たくさんの大きなマルタ（ウグイ）がみられました。その脇腹などが赤く見えるのは産卵する今の時期だけで、「婚姻色」といわれるそうです。



磯馴橋と花園川沿いの満開の桜。
(4月13日)